

うあらられてもくつらましょうなうないとするとり あいってするとうとといいからってもすめれいとて 准ひとするはれがかりとうおみまかします なりかなくとうときんないかとろくろいく そろからくまちわれていとくところい くくまないてもなすいかでもいいういろ 至

〇歌よみ文章かりむると。雅語と俗語との差別をよく辨るべ 俗語 くうくっていからしまから到るち ちたちているかずくとなるころくろ物面れる かれからとうとううくくずれせけんの見し い、りとうようちゃのあれど。それ雅語ともひとわくる いやうかんせるこというというというとう のむしろ。歌のちとるあらるのとって、ううよみ文章かとむ 谷語を雅語ありひとしのくららべくものろうるあを。月花 そうろえるられ人たちのうちみなあた。おとうるべけれた。 きあと、そりとやく鈴木ゆーの雅語識解。まく萩原ゆーん 初學のともあらりなどをあらるともあるれた。此書の 古言な解。ある世あつうとると、上古の書きをとなる時よ 内治即不此是 例言 調 凡例 了一起了

〇雅俗とも詞の皆便字をてるらーうわが。意のうしのあらぬ O雅語すそのと
のの詞を。俗語のかうあそん ○俗語と雅語と意の知あしきん 〇雅語から ちりあらねで、そのうち文章あら音便。まと字音をなどを と記せる まるやうあれたが出むるうるりるまるまうせん か<u>)</u> 三坊るもりがせる例へいいいかなイ 用ひうれが。からううぐのち。皆庁便字をてるる はるあらむ。と知をかをきるのかのでかる。からこのうより ኳ ともあるべきりばとて。かろちものあり 俗 語のなりもりのひとしのくがうけれが、いりあいかうち なまり 部よカ 歌るるむべきと。文章あかくべきと。さしてわら 一切をひょうかかりのまて。 ゥ > ョク = · スキビトあとのごとし。あら重複 。雅語やあてくる終る云々 用ゴノ りからでかとまれた。 ふかとろうちょう *** するもの そるひとある Æ

〇俗語の後字のまきらとしくくわららがうけれど。つとめて

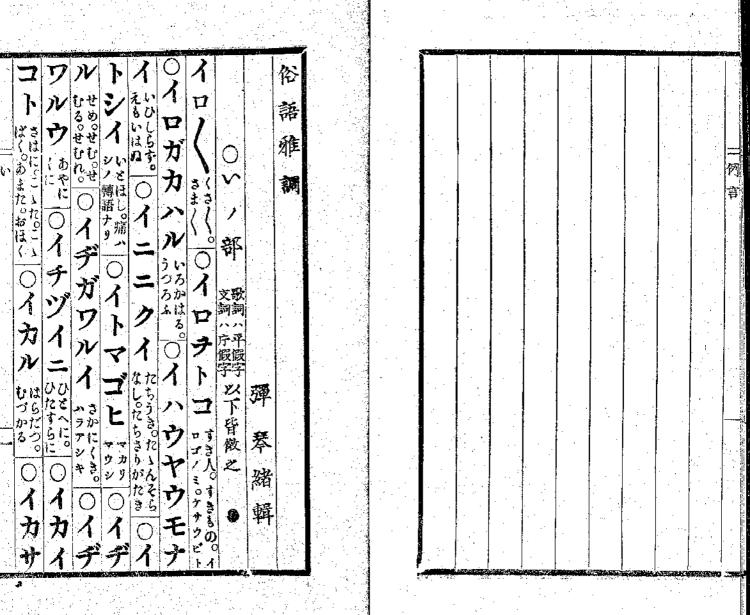
正格のととづき。古言柳まと字音假字達あるあよりもりろ

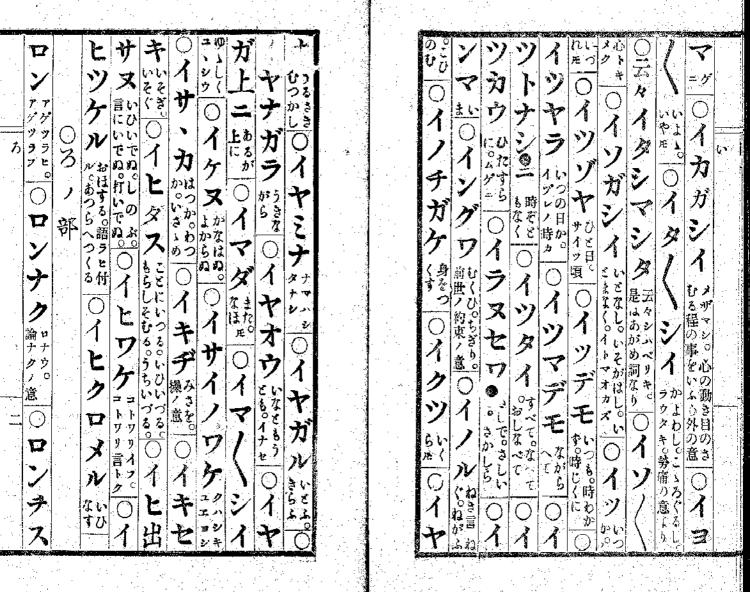
うきりあらまー解釋をくてる

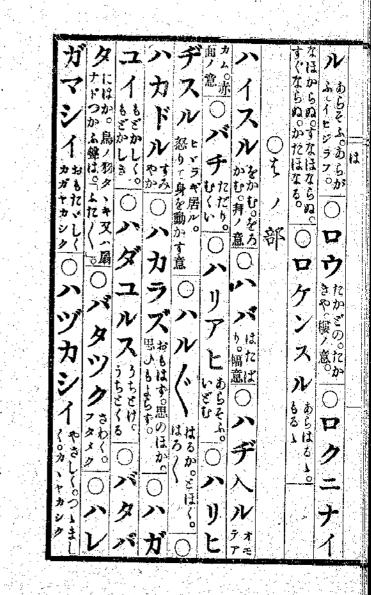
n

漢字をて云々ノ意とちなせる。猶それるてもちゃるか

〇俗語りかとあまうあれた。 での連用連体の二言例へはいそぎを記し、中二段下一段 方のなる時のなる一ろうをを見る とく されと他かくさくへの前でをあるなとまかった」 ーのお話でやは既 雅語のうちの治語を記をり、四段 8 16ろ「でれ」以上字音あられ。りとおらそりけれた。ま は別とす。それに俗意とりあをひの外を切くるととある りる「多え」おを「わと」じち「モジ」字音像字で「うる」かと」き 合きなりとなをあけれが。あるい意のうがくなととろをあ 此書写をのち と記 け」をそ「ちゃ」たと「ちて」なの」にな」もは「ひん」まを」「み ちん。世のきのちゃ人 明治二 ーくからとうとうとめかって -} V9 年 喜 0 しととうなるかのあるであて。 VY 月とず 然言のみを省きて記を一からる」り類 せるうろいみのるしてる 8 おれるもれるから い将然言と既然言とをとう 貚 古書どっとと考 琴緒あるす 拾遺みもの 一語のみ







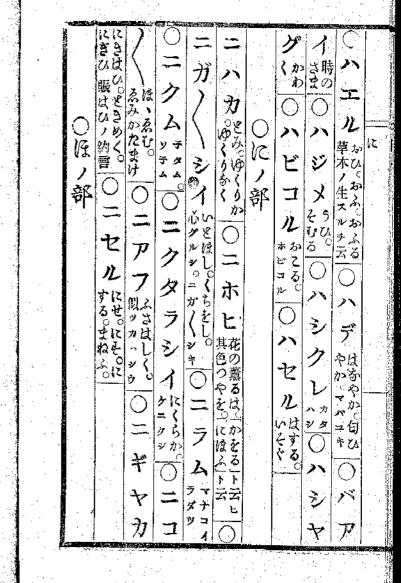
となり「鬼とかり」ノ如ションカラに気のはの「柴 腹黒ノ意 掲馬の字音をり (ヤカンケチエ ゔ カ 0 ŋ イタウロイ いとっす þ ウ ハツ 7 いるる。離ノ意の ع ا ا 3/ X V 3/ 3 2 ジウ くつサキ ゥ である 36-18-00 らはや かかつ。は 27 かたり ح د ラ カしてロ タ 7 \o バ 丰 テ *ħ*> ナ 15 IJ \Box ナ Y Ŧ 腹た、しく ŀ Þ Ž 力 ヌ Ž 時ヲ得 ときめ ツ しつハエー ふ物がたり かたるでかたら くく **かづそふ** なるよう 丰 ル意 (၃ ၂) 9 정 よら るよその のの化物 さたかてさや ケ かにっさやけ ୬⁄ ት ニー満ラ 源氏帚木がたいが ラ o C ア サ 二襲ハル \forall 意を 4 ニテ形 る。化 3 1 カ つななや はス

H

物ニオソハル

一十云が如シ

Ξ



STATION / るくうつて あぐる っそつ 水 É くる これ 37 5 ŀ 术 C × 亦 はほつの ピ 法氣付ノ意 113 1 亦 亦 ホ ック y **∮** 沙 ĸ うる 力 として y テ Y 0 力 外ノ意 Ó. は I) める。ケサウズルの懸想ノ意 もっはどもなく つしかとう 亦 者ふくら 水 はつれて ルるい うる I) 亦 水 1 ダ 2 *≵*> 7) ľ ŢĮ. 0 亦 心しあれた Ľ 5 がち出る 水 類材 赤 つうらづる **"** かつつち ig E y 7 ラ 0 ķ k 置いの ŀ 亦 亦 .. 0 亦 亦 A がらるのは ていうちょ ルなげ くると k ŀ ラ 5 U あぐ。 0

亦

矛

身

J

タ

水

y

IJ

pu

12

亦

U

はよらり

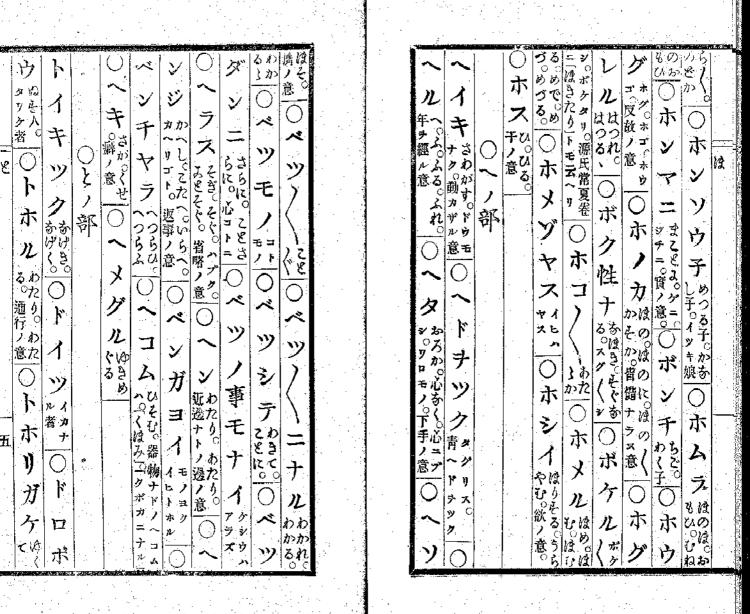
亦

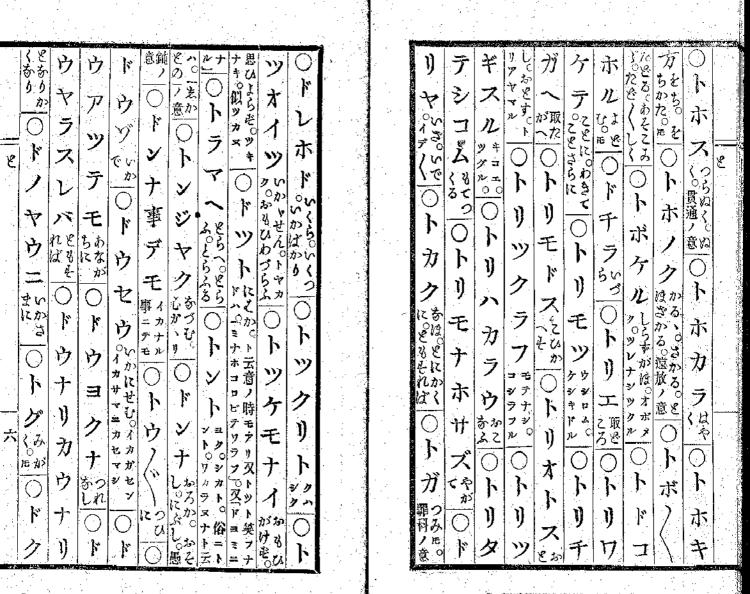
D

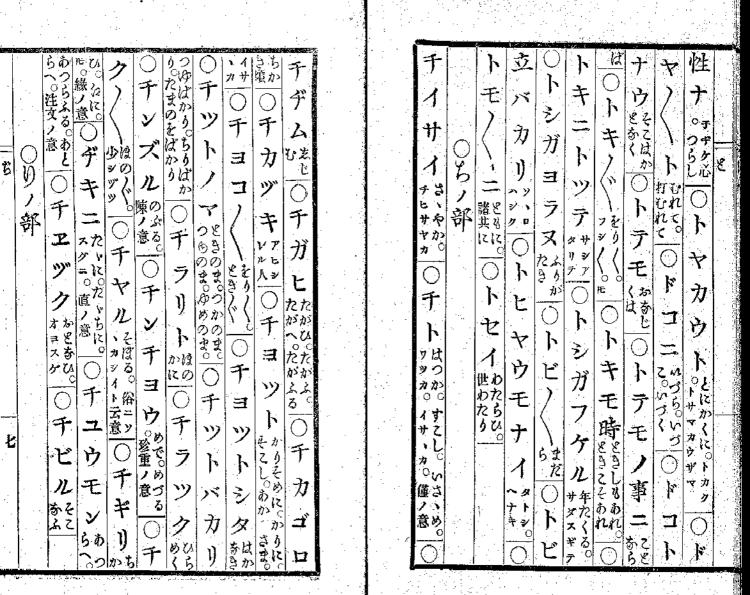
ブ

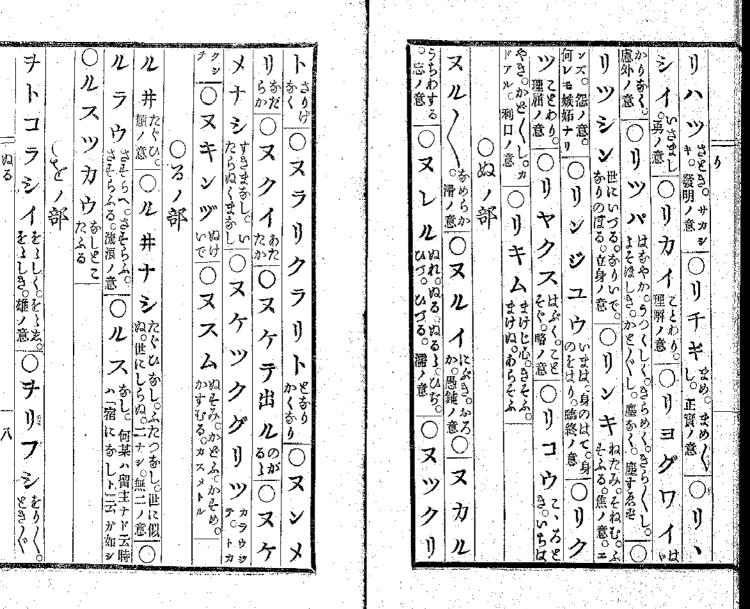
る。死。死に。死ぬる。あくありてうせょうそ。うそる。まけっまくこ

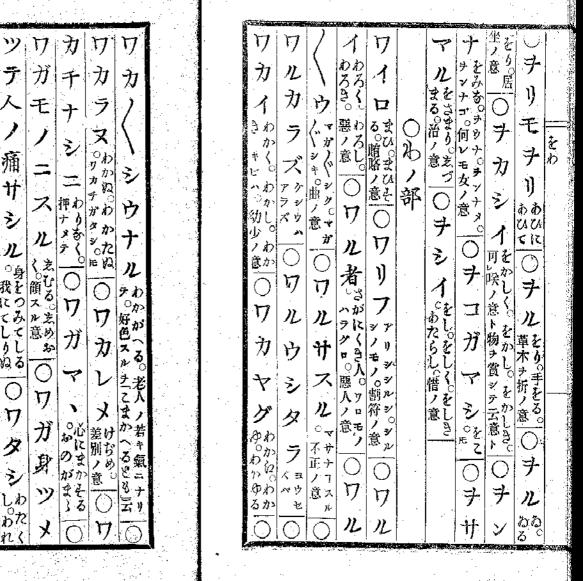
ò











À) わらべく わらは。 ツガヘル ツガヘ 童 ノ 意 りごく J ワラ ラ ヒグ えみ° ゑ む° たはらいたし Ħ 九 人ソ ラ 〜

7

はつ

くつスコシーン

いさしめ

77

1

1)

笑顔 ワラ

よる意

= 0

ル餅ノ意O

秋

デ

_ み

のれら

ŋ

E

ズか しれ

らつからら心づから。我からら心か

ŋ

レセヤ

意

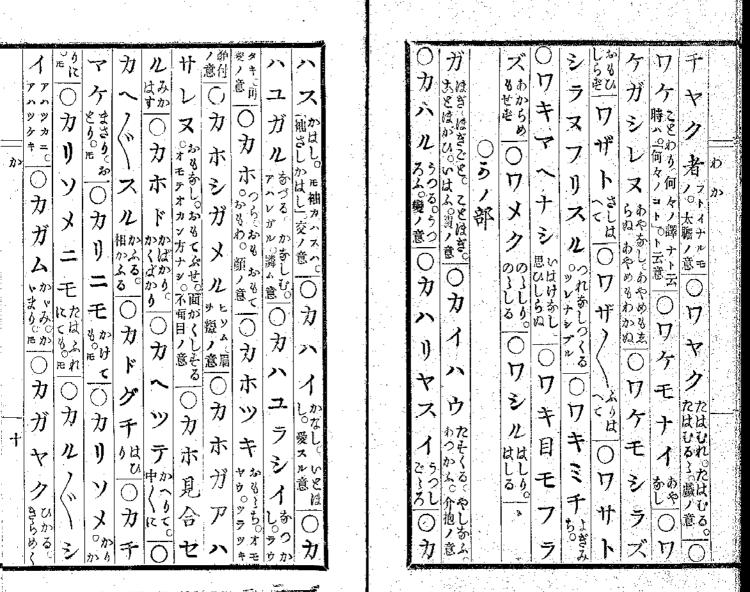
ワ

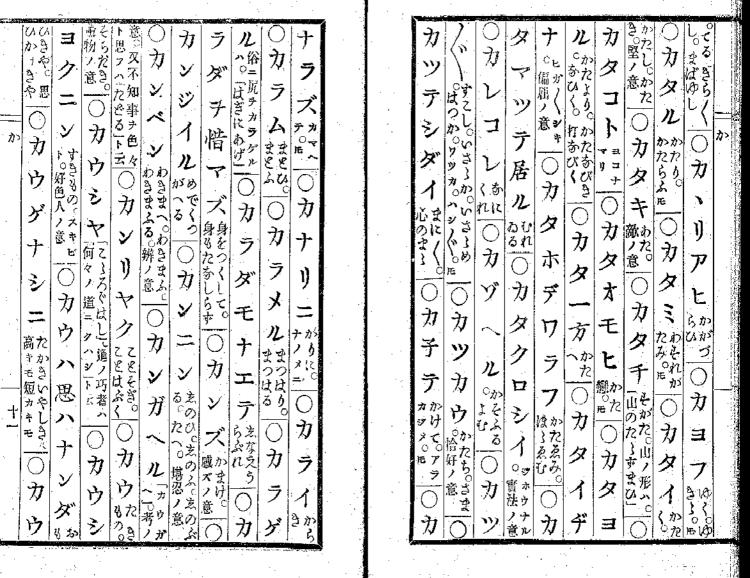
Ž

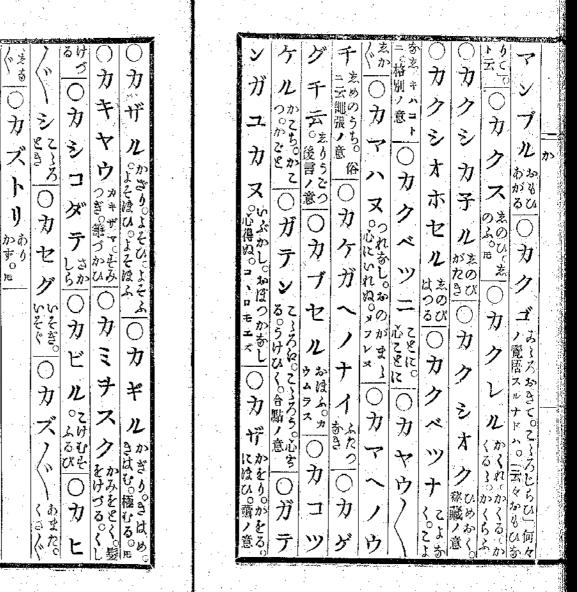
我に

しりね

ŋ







されるのか

 \exists

15

t

よばひった。

 \exists

バ

ない よび、よば は し

1

 $\exists i$

よろこひ

5 7

 \exists

U

Ž

のようったぐひをしつ時

よろし

くっよろしきつ

∄

 \exists

 \exists

口

""

くさん ななくつ

,

甩

 \exists

Þ ļ

S. T.

よる 夜よ

크

力

 Ξ

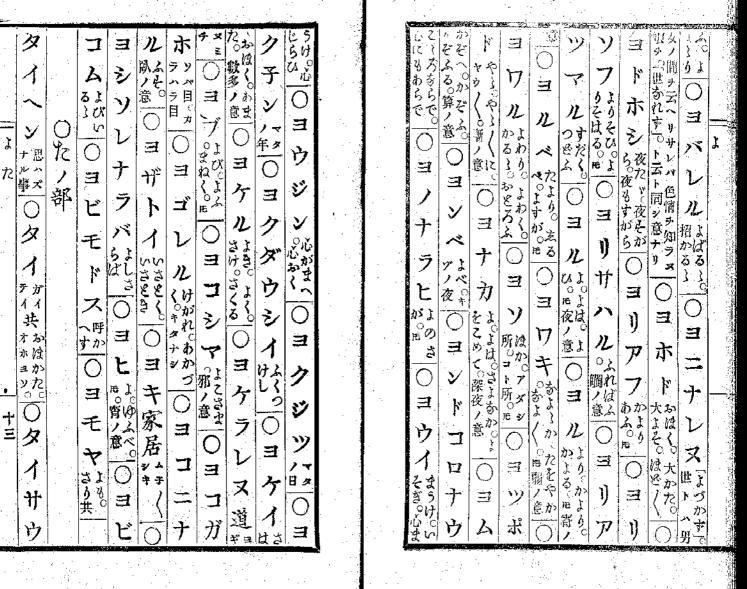
卡

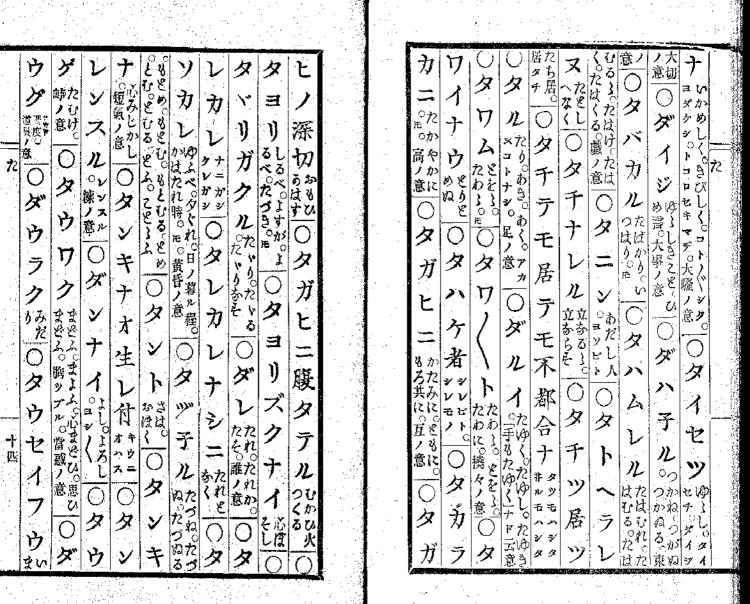
16.0

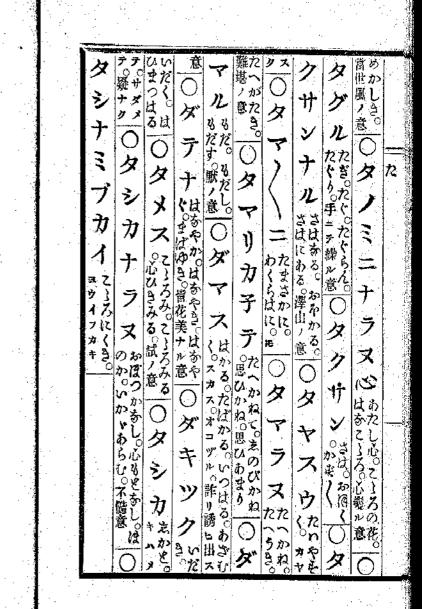
合

ゆ く 。

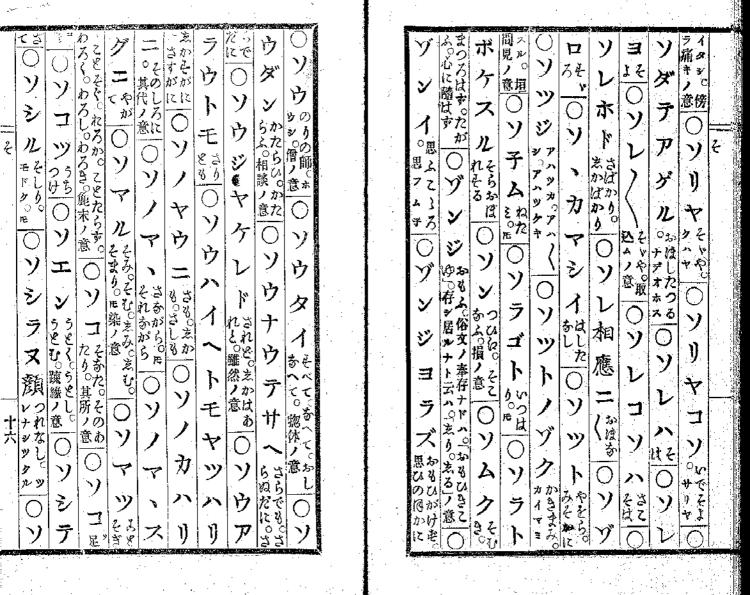
どち かせ 部

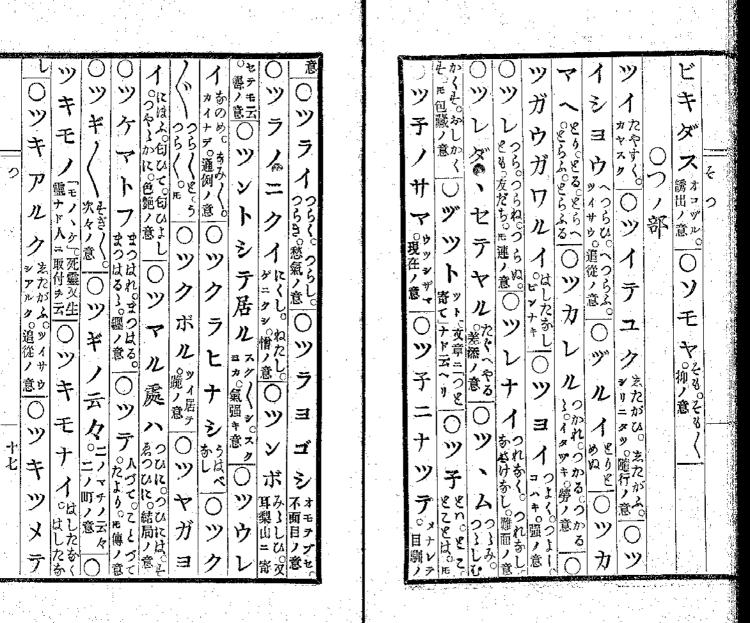


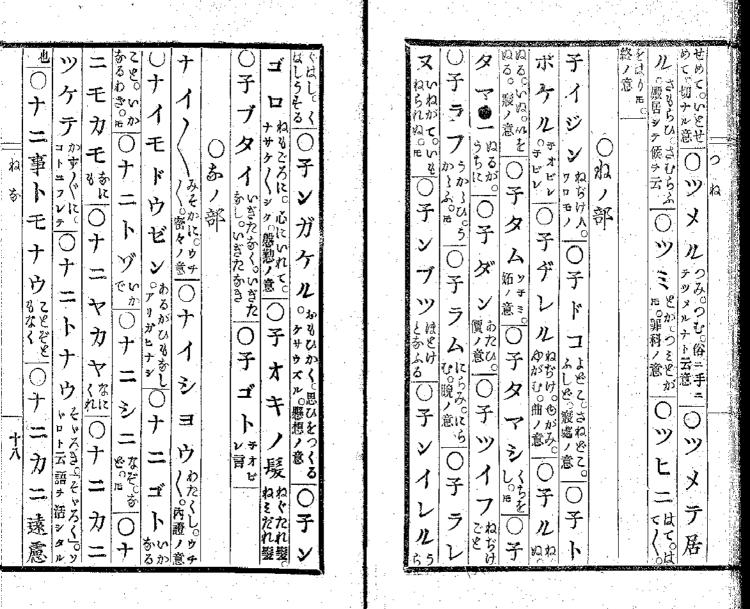


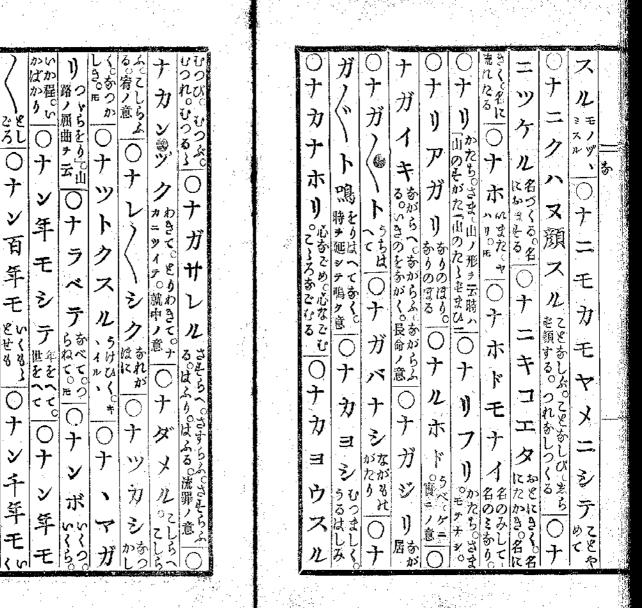


クを意例 ハ々ご貴一〇 つらでつらねでつら つからぬるら海 ためしいふるき例一 Ħ U あと○倒ノ意 レツ ケール 12 そ るやまる○禮ノ意 せつはす つらね つらぬ Ł ノ部 丰 スルの側不難意 90 部 徐々ノ意 ŀ 思いある。 の枕ゴト ヤチラ のな。 Ž 1) ラ かもひのど 凝簡ノ意 ナ とさ とざり ソ タ バ ラ lag 々 ١ ۲ 。 卿ノ意 ○連衆ノ意 ナ 列ラ亂サスノ意 イツモノ云々 カノエクロカチ 一大よろこび " 十五 力 ソ 3 尹 O ノ云々の ナキ Ŧ.









ひと

-6

鳵 t

ちかへり鳴

ナ

何事グ

十九

ちょる

うちとせる

E

E

七

10000

ヽかへり[○]・

ç

たちか

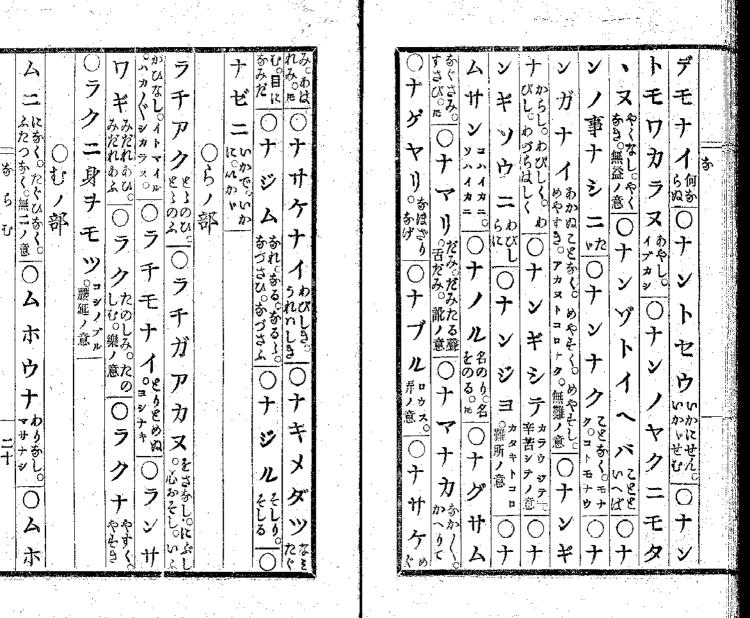
E

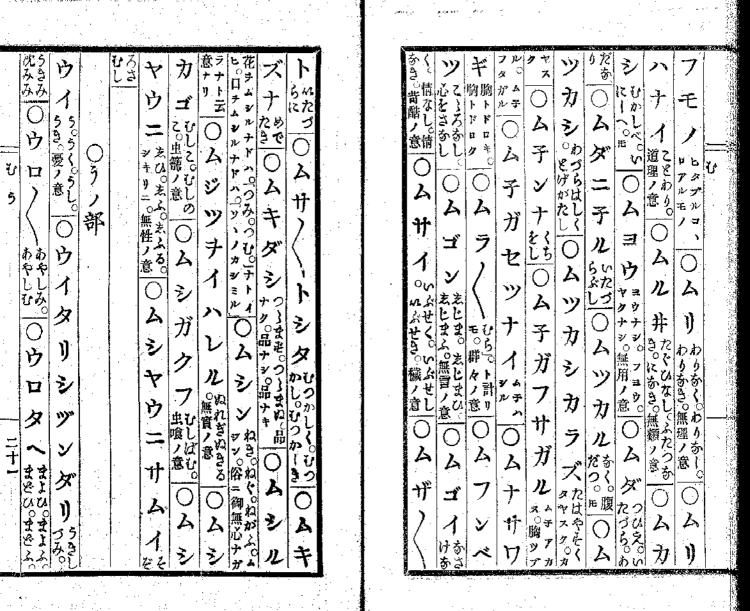
干

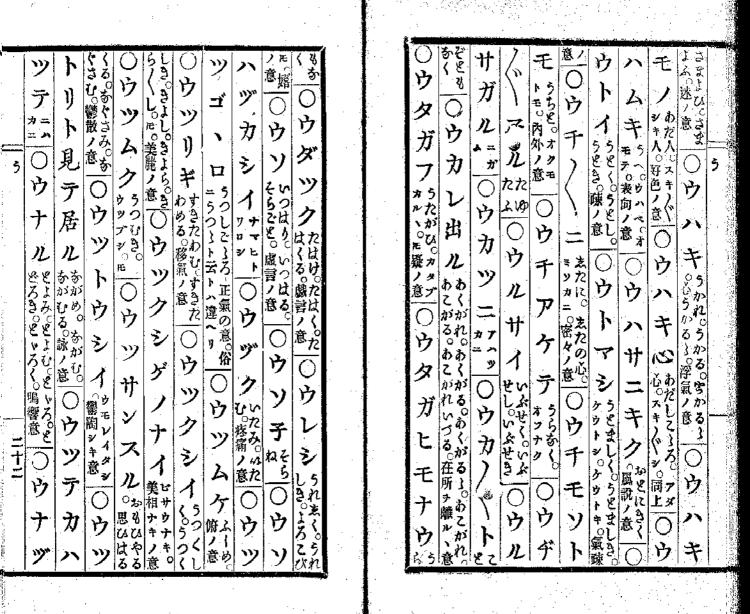
))>

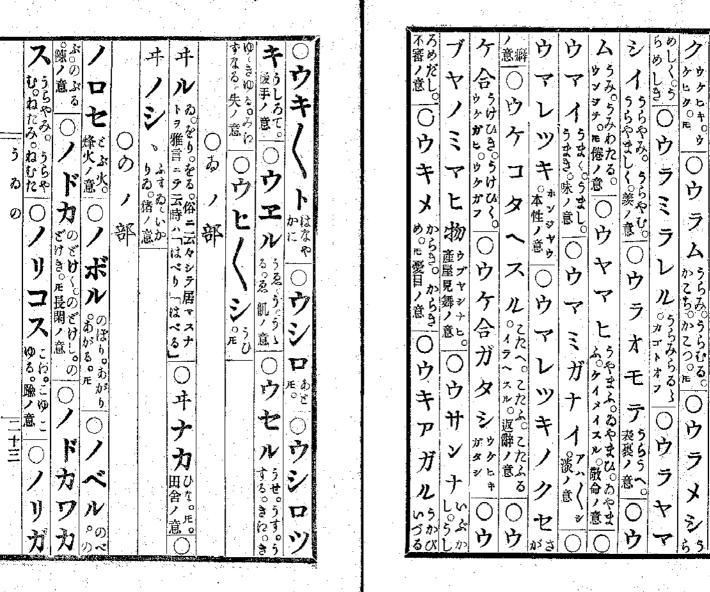
でス

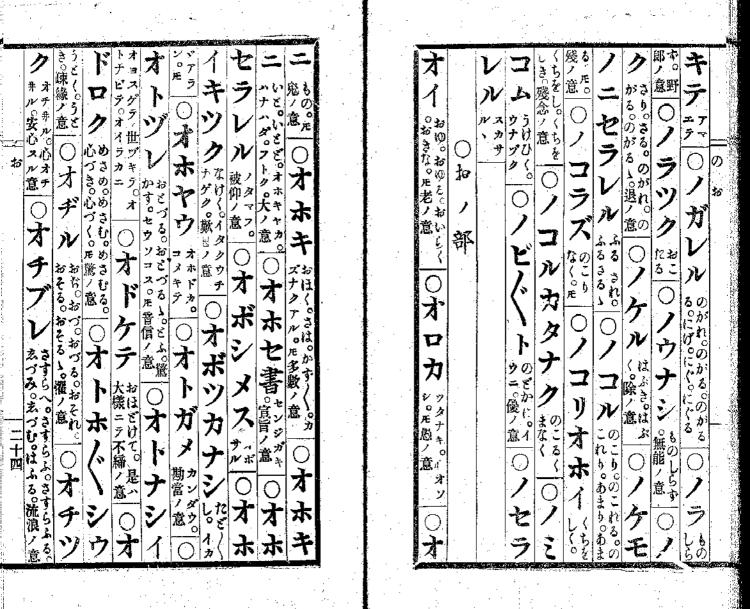
3

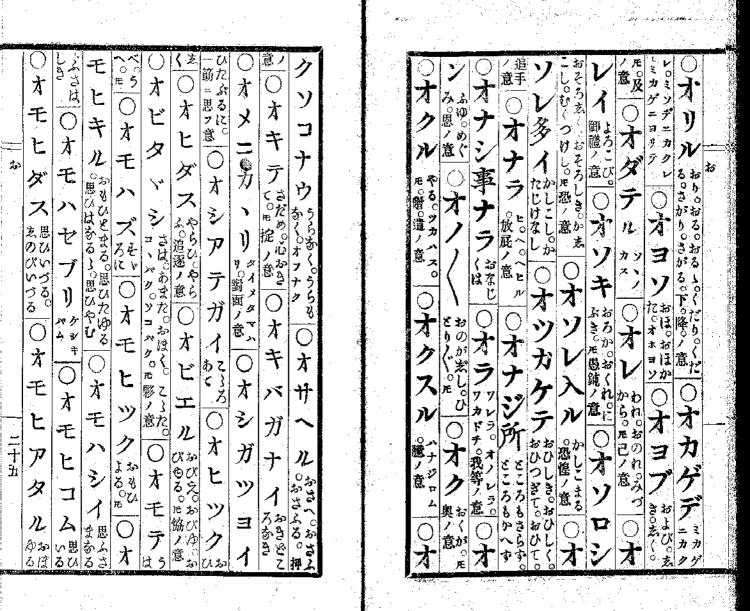


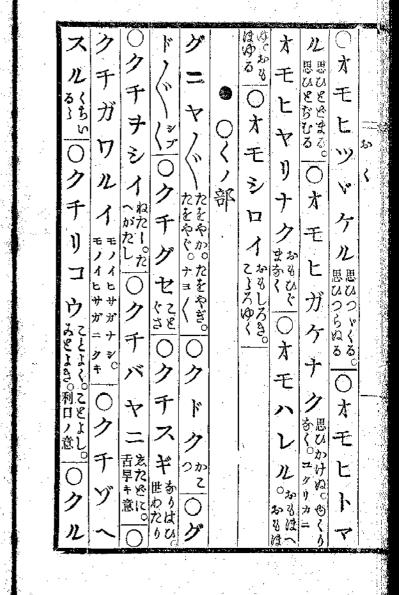




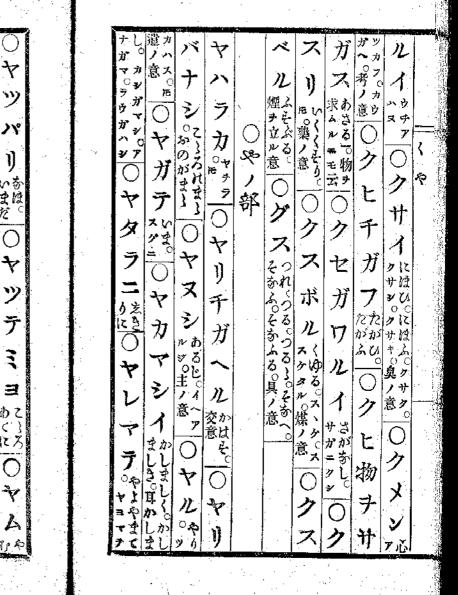








ر ع かが きたる。 N A 77 ් ආ 71 4 Š Ž ラ ŋ ブ たの水ノ意 ラ くる ねぎか ŋ 3/ 4 Y 少 ? 7 くらき。暗ノ意 1000 C ギキの外開ノ意 ∄ ス ŋ P そら y あし[○]空ノ意 ノキコ フロカウガへたくそったく くらし。 ቲ FL タ めぐ 3 30° ひる。嚏ノ意はなび。はを はな ť エの人 ∄ ング ウ <u></u>
○
グ $\dot{}$ 少 ○工夫ノ むい心ア ŋ otaいたく。 ン くる ケ くつをる。コウックかれ。つかれ。つかる。つ y 7 ` Ħ シの幼稚ノ意 ○グ 7 と く る ラ ケ **3**⁄ х I) セグラの氏の倉庫ノ意 むねいたき ゑ゙v o 二十六 ŀ P をるるしちゃっ、 ゴ ア 0 0コウズ よそめこ 外見ノ意 かるよう るしき ガ t ウ T V 消 7 7 グラロア 7



ともすればつ 約束ノ意 わそれては ラウッテの瀬ノ意やよっヤウィーのカ ヤマウの病ノ意 ケニ 7 土産ノ意 ヤキ 72 テ ヤクナ , ひきくこ 心 の放心ノ意 7 Ŧ ヤウカ ₹/ 7 于 ねたみでねたむ。うらみでう 4 ブラカス 7 公务 クナキO無益ノ意 ウ 7 Y しかいかるこ 次 7 t ⊐î` ルヤウのヤウダ Y ウ ij エダチンヤ クで役ノ意 のカタチ ŀ アリザ 1 ス 宿世 スク ずまのなる E *** Y 一ノ意 ヺ . 🔻 · Pr ス ○重病ノ意 7 二十七 ヤメ Y Ŧ 7 プ シクナル ヤウス 力 y 7 Ŋ 5500 6 h C 3 ij

やみつやめるこ

4

ゥ

O サ

0

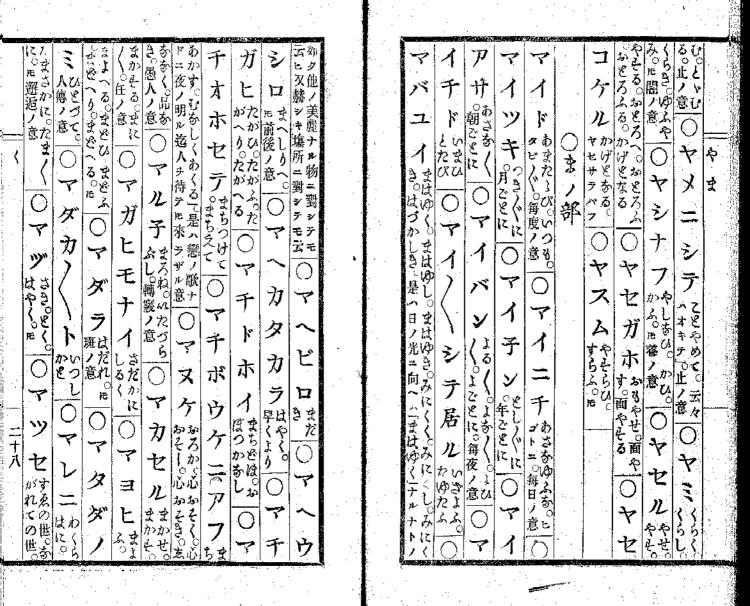
L

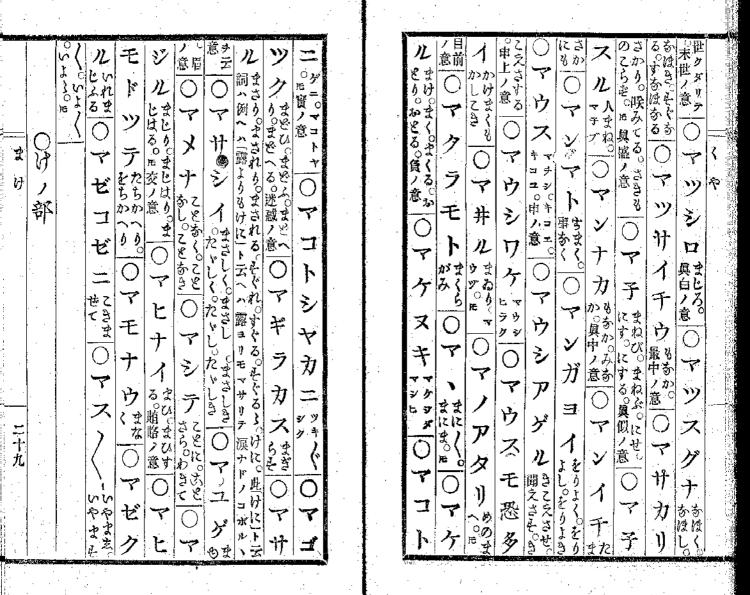
Y

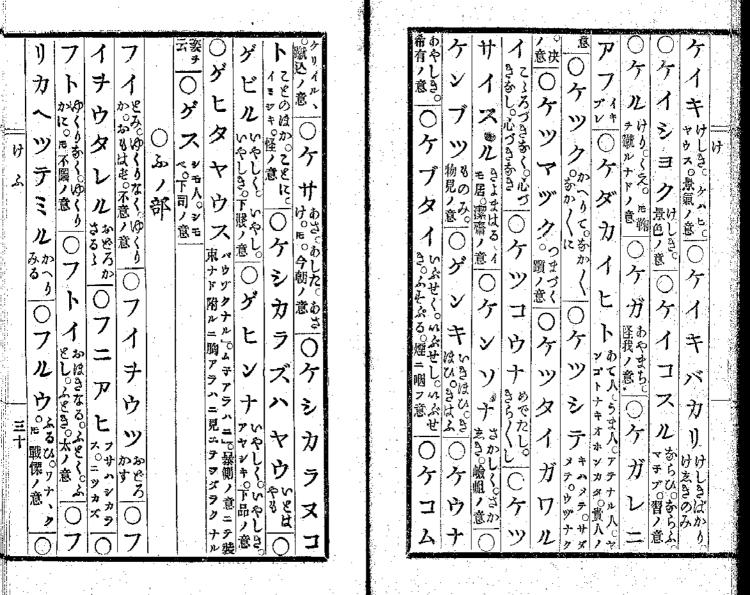
Y

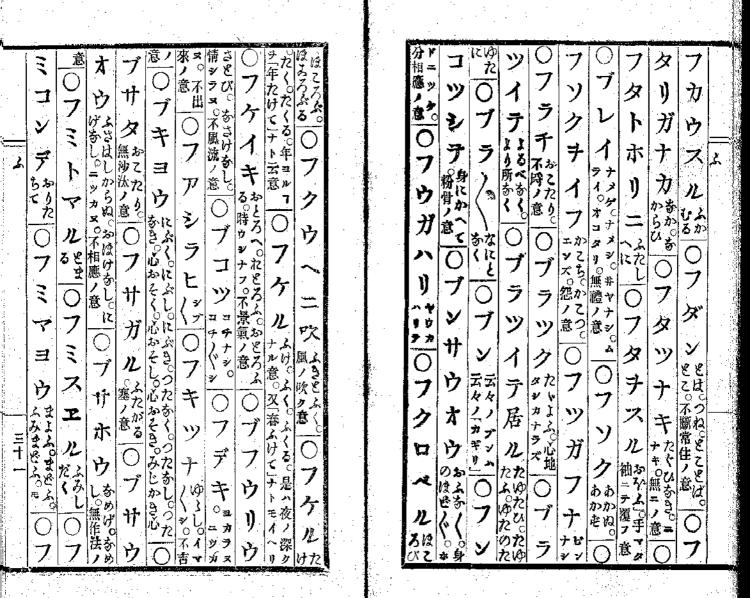
めくに

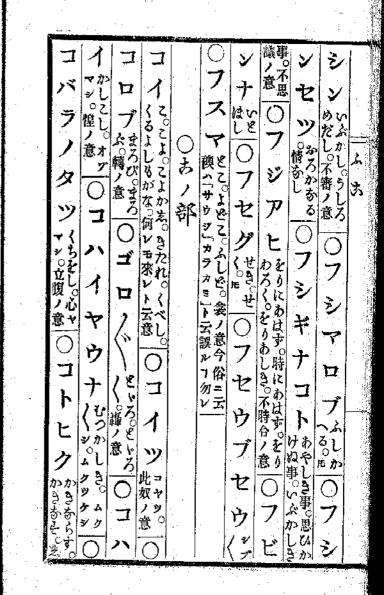
いまだ







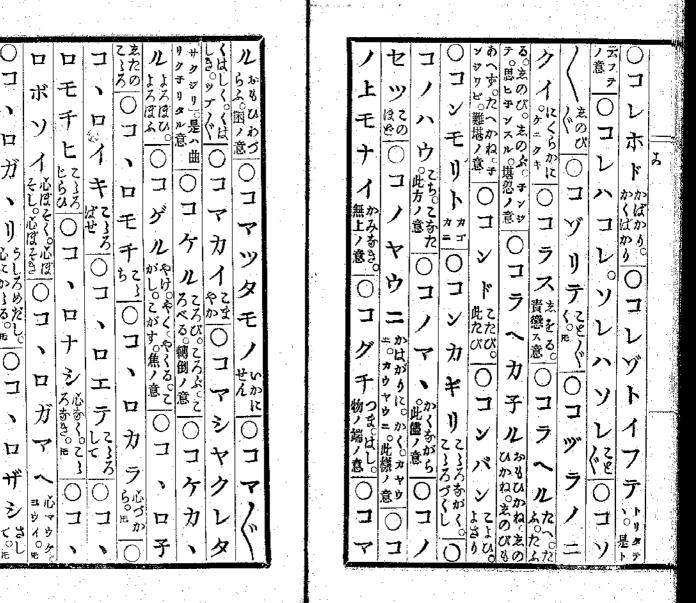




ちぎり るいひもな らべつきらか へ來レ \supset 彈琴ノ意 むっア みあってとうでのころ てつ言傳ノ意 ケ 力 力 マラ j たぐへやる。言托ノてとづくる。たぐ 亦 ズで悪ノ IJ ばその轉倒ノ意 まろばしてまろ 力 Ŧ これより いまより⁰ れや。是ノ意 チ J 1 乜 Ĭ r 方ノ意 てち。此 ズ まいず | ○ コ J **~**ol 意 3 才 まに J ŀ テんななくのよる 乜 シ レ 训 あし[°]こよなき コ バ I 手 テ かであて。コト Ì 干 ŀ ナ コノ手ッキットリ カ ラ 力 ラ ワ 亦 死 タ ŋ かの○是が彼ノ意 K 力 トツ I 是々ノ意 ロで聲遣ノ意 てとなって ミジウ ダ 込ちぎる。 てちる サヤの此方 いひちぎ ラ ١ Ü "

j

= + =



•

ŋ

心にかしる。

肟

•

シ

"

力

とかった

0

7

口

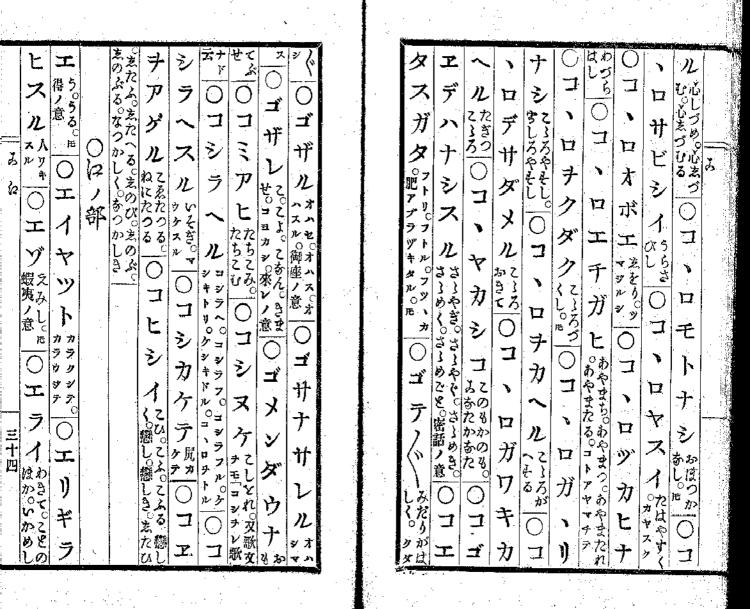
ナ

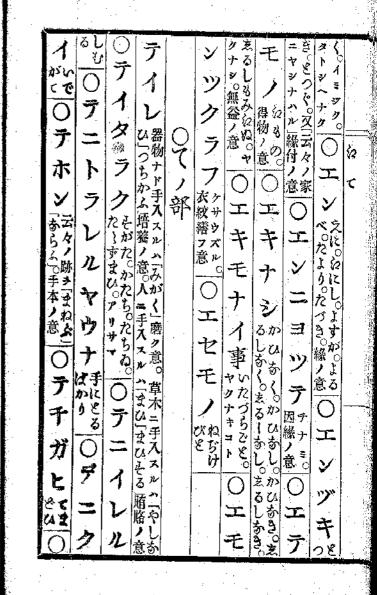
Ž

")"

三十三

口





0 安ノ意 不面目ノ意ニハ 一臓スル意 デ æ ル酸ノ意 とばりo キロハ テのりてい心にのりて ク つ テ D わらはっかのれっすと スガー ₹ ヤリ もろ手に Ħ 丑 カン手頭を登 出迎ノ意 ラ ラ y ラ 動功ノ意 いさを **⊒** ヺ ダ ヺ テ テ。謀計ノ意 らる。手水ノ意 手あらひで手あ テ そくる。手傳ノ意たそりた ラ ハカリ Ħ Y 7 ガ ⊐' |-ラ ľ 7 カラからから ウチザさみ。たく () テゥ ኒ ナの出會ノ意 プラ IJ 三十五 ふれの戯ノ意 アッケパリ 津を手習ふ。 てあらふっか たづき よそがら ナ かりて には

ラ

ナ

Ž,

テ

びょてよ

ラ

ŋ

ケ

手ラ

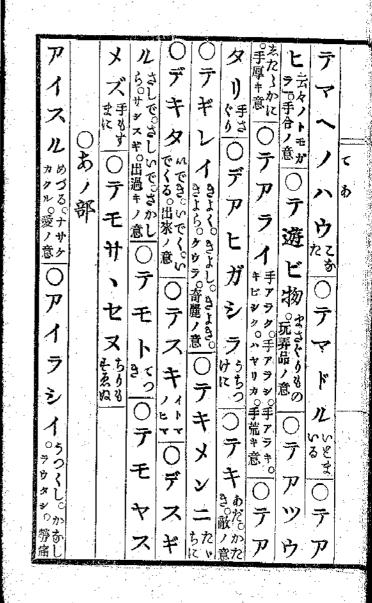
ラ

办

ひかなり

リケ

THE PERSON NAMED IN



-jà

。彼地比地ノ意 なた。 どころん できかっア オフ る・シ らなしつちからからで無敗ノ意 よくる。戯ノ意け。たはくcた アザハフロア Ŧ $\dagger \dagger$ 第逐ノ意 ij V タチラ まくらよりあとより Ф ゔ \odot 立かくれて 味気ナシノ音のなるで P ŋ ガ 74 亦 I) ŋ 前後ノ意 ラ *t*)> ケ P = イ・無味ノ あふぐ。 * かの卵向ノ意 1 P **なく** あるか クをひく Ŧ T そしかっ アフ りなごりの 7 ヒナ 1 意 4 F Ŧ ク ₹ I) **X** C つア あるかして。 〇 ア テオチテ しをちてちっかあたて I) ニナ六 しあとつけいあと チカラガ タ ヂ つく。あとつと ケみる。 ナ 7 あしてる りのこと ₹/ キテ

ソ

消

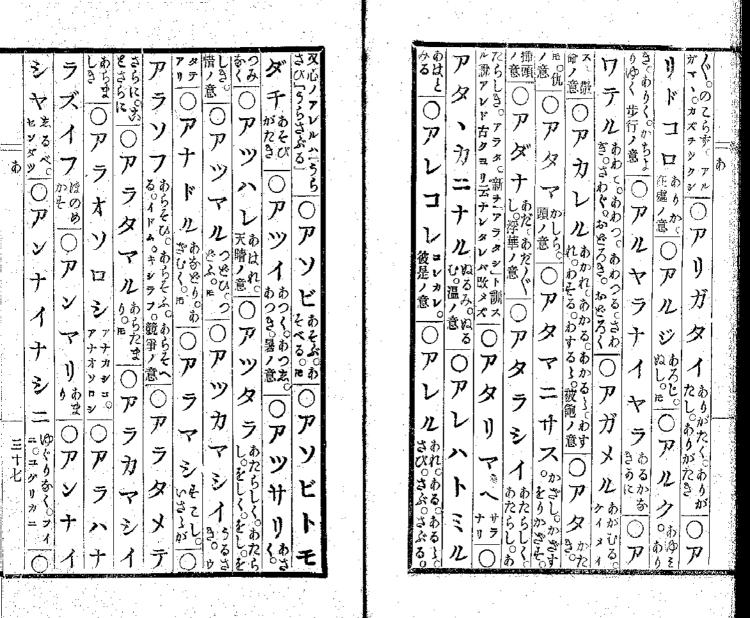
+

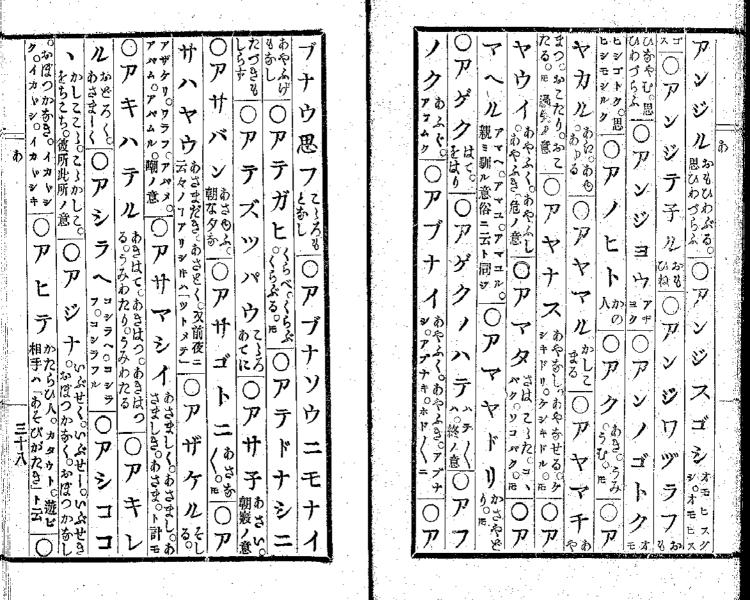
響ナシノ意

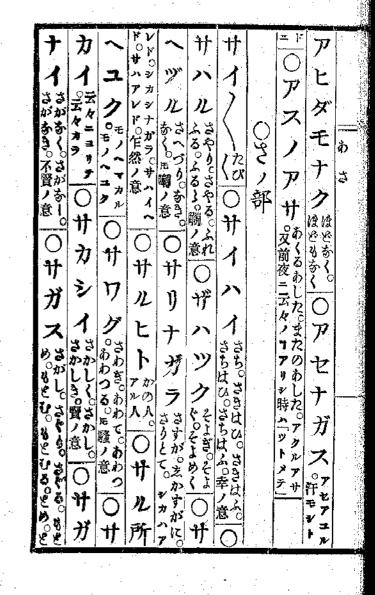
P

わぐったは さかざっさ

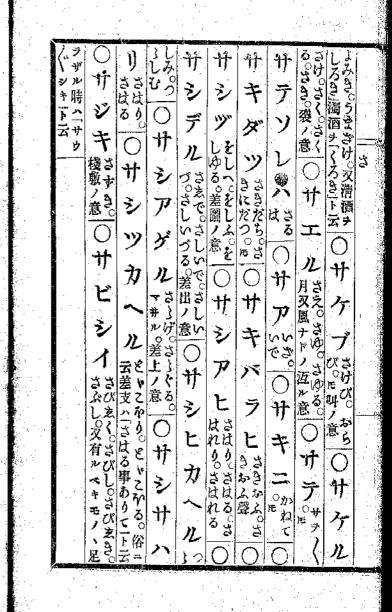
0.18to







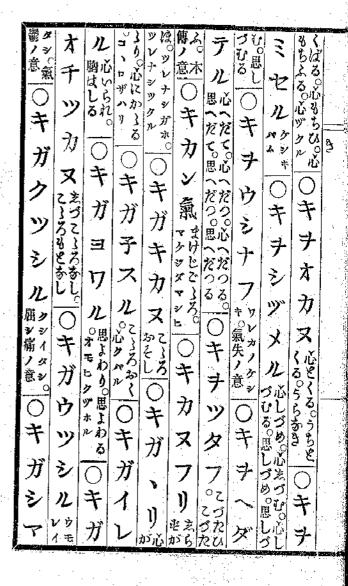
ひみだれ^いな ○搜索ノ n いっといる。 +} カロケザ おやかつカ 7 厶 3 Æ Ñ さはつ さいらの寒ノ意 おいくつおいしつ # ヤサカシでも おらば 32.80 7 5 5% 三云城ト ダ p ッ 左) Æ \equiv ò いでつん 雨風ナ # 7 はながった。 ノ意 18 " Y さまこびっまらいっまる ふつまよいった吟ノ意 IJ # ゥ H きはめて 定ノ意 ŀ デ 3 7 Note of ン ラ Š ひらくった殴ノ意 り ıı" Ü ij 1 ひやる Ŋ # まうづつまうづる。参 まねり。まねる。まうで 'n ١ ŀ Ħ 三十九 Ŋ 〇 サ ケチ さだかにみゆる。 t 5 さず。のこさも あまさずつるら ٣ エッナ ス モ ケみき こととい あとそぎの 80°8



2 **こ** かか わらそへる。競争ノ意 らそふで くると、木際ノ意 ナ 3 あらそへ モ ○なぐさむ。 遺閥ノ意 ウ おもひやる。あぐさみ × 丛 3 ÌÌ 500 こうろいたむる。心痛ノ意かるひをやむ。心いたし。 Ž ス 器量三 て
ら
ろ
づ
き
な
く
の
心
づ
う カタ 〇 キ きなしつ心づきあき ツギ○黄口ノ意 タ みだりでしろっち + 氣 キ意 ナキ ď ۴ 亦 ヒの氣選ノ意 ŀ ブ 丰 ヒールはよっきは 3 ンの埋發ノ意 # そふっきそへ 卡 Ħ ロキ E ¥ 半 チ りつきそへ チ **্** ころもっそでってろも からの そび心心に ダ てうろに りてとわりつ Ŧ たるとの衣服ノ意 四十 > 丰 義理ノ 力 ツ るのあらそびのあ へるいかい ひらか テ よべをつ かある コトの吉等ノ TO TO へわ 多炎 ₹ 0 # 经许

E

部



○ケ ガル ナキ c ケ ゆきらハナヤギの奇麗ノ意まはゆく。まはゆし。まは 分 夕 ス 又 浮華ノ 意 ij からり からめき シッパカん サ 力 『穢ノ意 レーケ ガル Ŧ 丰 X ししいかくるしきつオモヒナヤム " しつからかくつからく シリ Ξ トシキ ر ۱ 7 マシの趣麗ルノ意 ¥ 丰 さんへ Ŋ しるのイミッ いかめしくこ \exists 心かはし シイタ しまの赫ク意 3 $\check{\ddot{ au}}$ しく 3/ 7 ् । ′o ∤ でき ر ا ラ かよくつかよしつ かめしつ V つくしくこう きゅうの最ノ意かめしていかめ のりての興ニスル意 ジ ロ ウ ゥ ルーオ ₹ y ルノ意ナレ ラ ズの佬ノ ガ ग Þ つく あしろやをく。 3/ かしためいかいよういい しゅうつくしきゅ 意 7 4 べ天皇及親王 毛 ル キタナク タナシロキ 彐 丰 らず の御嬢ナ 力 かる

3

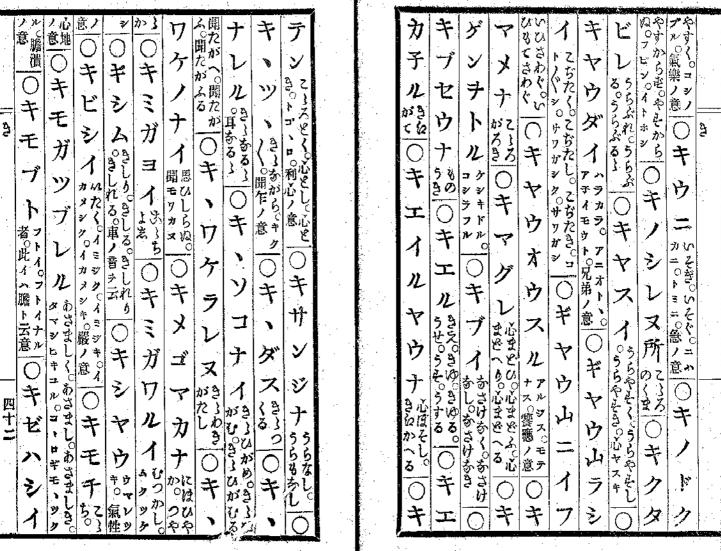
ロキ

ラ

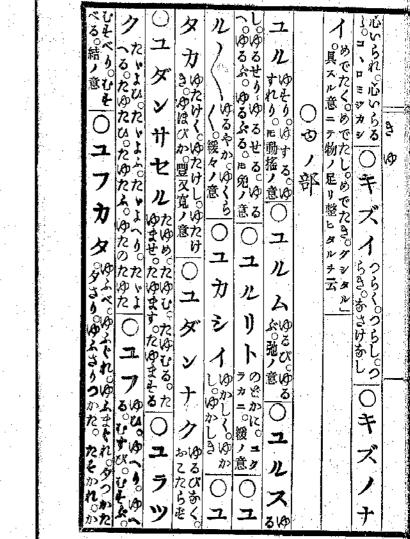
ナ

四十一

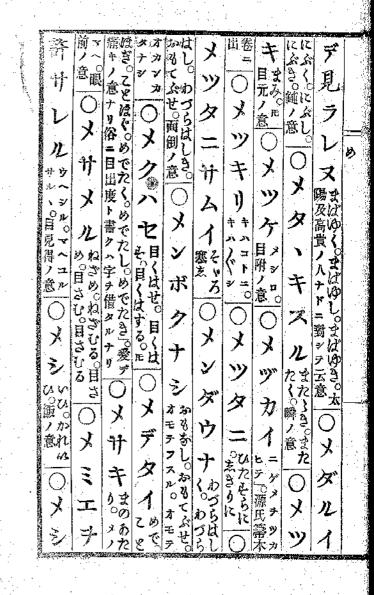
しいかやすきつうら



Ş



キク所の名言 10 M いづる。萌芽ノ意 7 力 ク所 日夕ル ڙي いめて ゆきかよっ行 よるの氏 意 IJ 力 160 べ。夢ノ \check{b} かのがぎし。ころ 少 ねる _1 ŋ 意 b 7 5 かひし 1 t. 消 クまでいっまでふっまでへりっまでへ 9 \mathcal{P} およひをりよみかぞふるかよひをりかさかぞふる 7 メクご物ノ音ス 思まどふっうれは タ ラ ザ 7 が目 てに X るよっ行業ノ意 十云意 Ż): ナ ぞふる。 指いった 意味 B かの迷惑 X 四十三 三 E jj かどころっかぐは $\overline{\mathbb{C}}$ 行過が チ 7 ۵ てに Ľ + 心の Ħ ヺ



身をや につきつ = Š `0 ? * 냰 つれるし顔 目とむる。目 **チガ** 于七 **"** 国につく ? めさる YCE 召ノ -ナ ヨケ # \subseteq み ルみまがい。 つ身にひと 部 ナ ラ ŀ ラ トリメリテノ意 みをつをてで身 ス A 7 ヌ 7 テかりた 亦 ださ。身をくだく。粉骨碎心ノ意身をつくし。身をつくも。身をつくも。身を 于 ۴ Þ ₹ 道もさり ウ Ę ミチ ツ + , つ ٥ 四十四 トルレ ≒ 醜又不都合ノ意 ヺ 美ナル 3/ ロミニクキ ゆきなり道 ţĬ ス 意 C めとめ ての道 3

ガ

「まゐる」貴人二物ラ

X

E

ラ

デ

日日

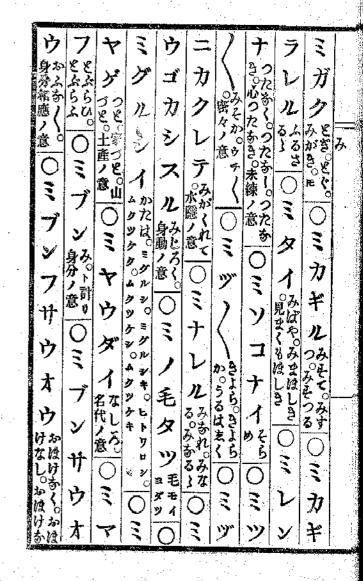
Ť

)) X

見

奉ル時ニ云詞ナリ

めしのされいめおる



うちるが れそる 見行が 姿ノ意 る。やつれ。やつる。やつるとなどろん みせま した。立派ノ意 ? Æ たゆた ļ たゆたひったゆたよっいざよひっいざよよったもらひっためらふっ ボ 容 ラ : 46. 1 ? テ テ Ŋ ラ Ÿ ラ 居 水 ものげなし ひとげなし。 X 工 んよるされのみをてらるのみをてらるころ のみじからの短ノ 3 みる みじかく タ E 令 見は一 C うみじかし 7 見 755 り)ミテ ス ()ミメ へ見もあ ボ テ $\overline{\zeta}$ 居 ラ 四十五 Ŋ 1 Ž 7 見そつる。ふ 見そての P 宁 ゥ タ 紀ずみ。 Ŧ 見すって るそ 'n

わまる。身分不相應ノ意

3

J

る。みいれ。みいる

3 V

=

うつ

ζ

ううつく

ううつ

;

I)

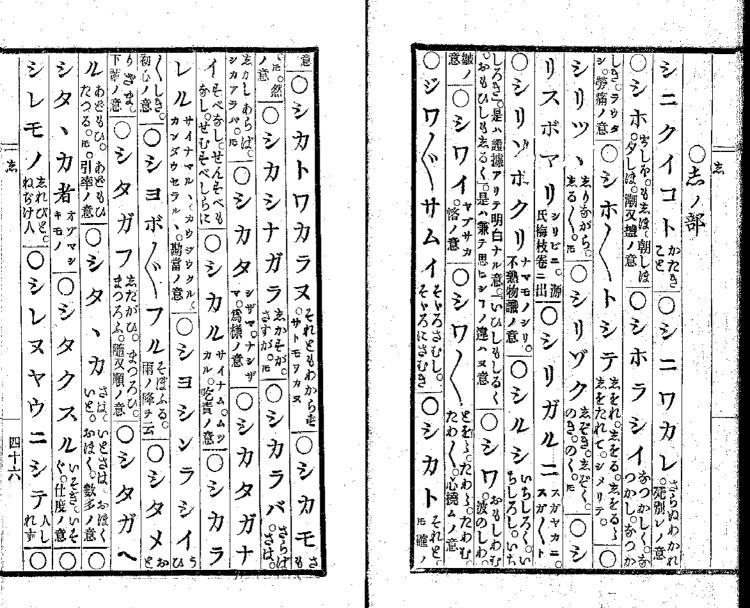
工

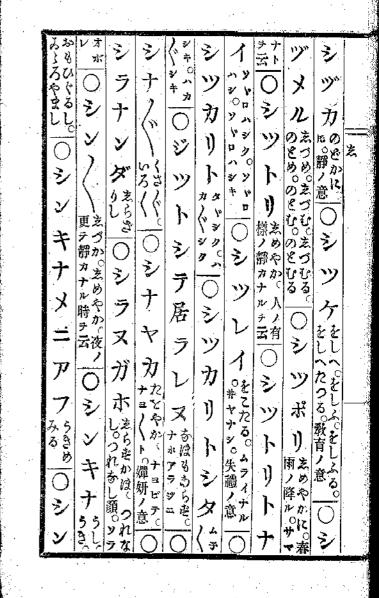
Y

夕

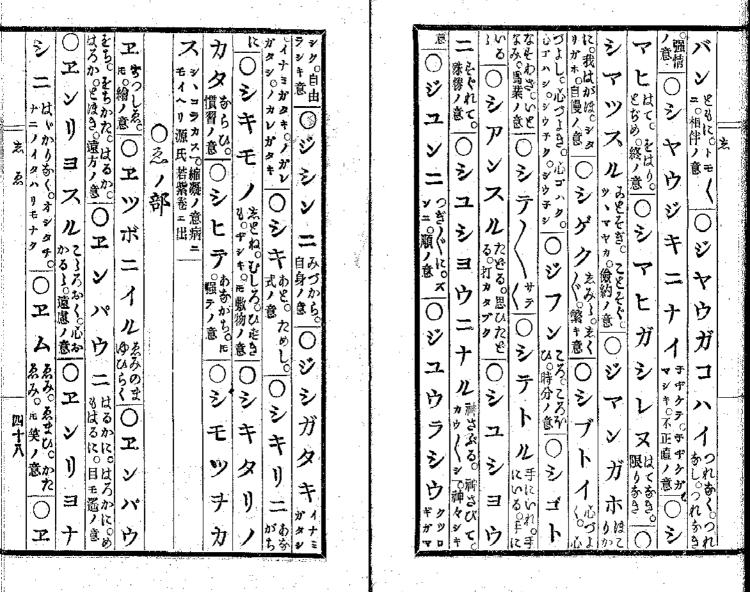
I)

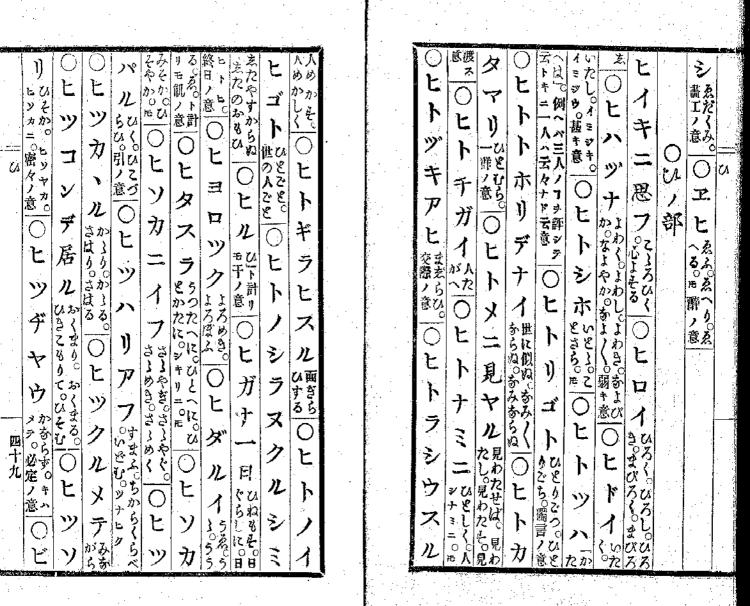
みかみ見

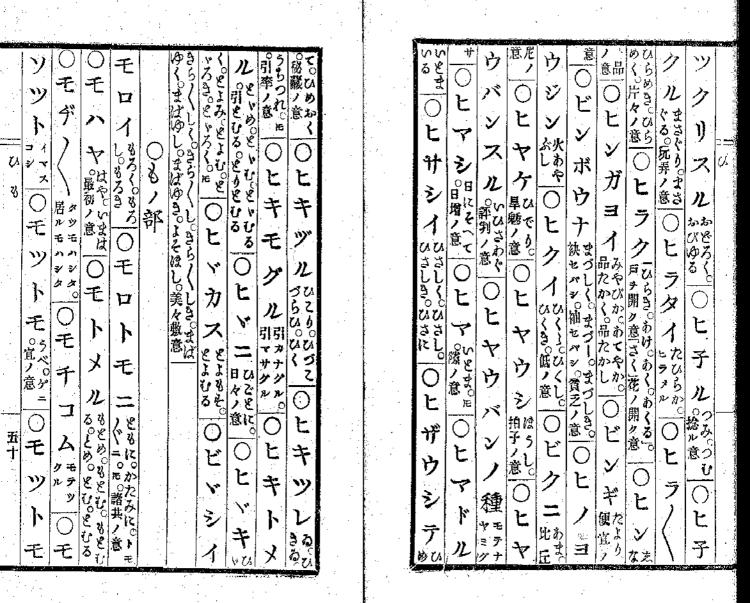


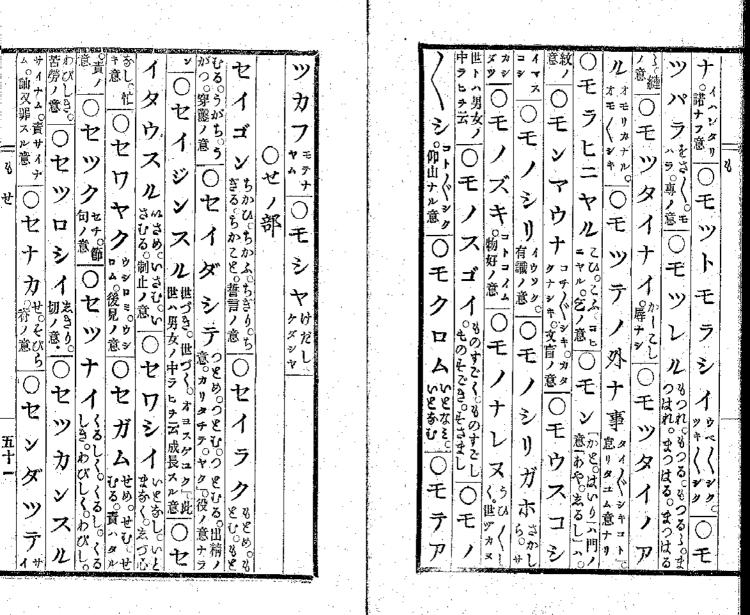


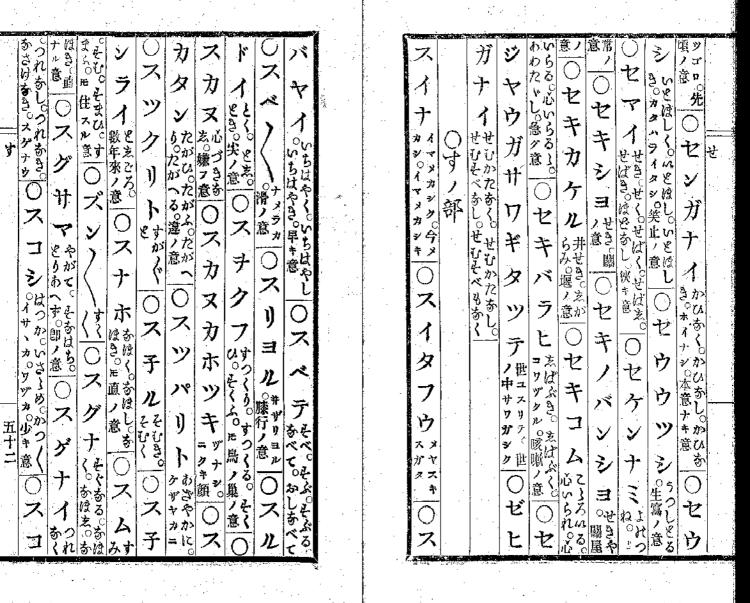
うる。 為損スル意 ソコナフ K 3 まのびわまり。思わ ፞፞፞፞፞፞ ₹ うしてうきて心ぐる タトへテ云意 しって1ろやまし ウ Ž ボ () () ガ Y Ž ゥ のこす りとすっシウテキo執念ノ意 ラ ゥ 7 7 ○上手ノ意 乏 ŧ t 力 4 てとス Ž ラ ر ک くらべ 1 y 邪魔ノ意 ジテ カラウ 艺 ASC 邪智深き意 ナ 力 つ ジ ンコトナキ御方 亦 3 ウ ₹ ヤ つず ア_レ ウ 炒 消 \overline{C} 7 ゥ ij テつザ Ž Ž 7 7 ボ L Ņ 4 V 四十七 ズ N A 'n Y の晒落ノ意 の無徳ノ意 しのぶ。辛抱ノ意 ムトク ٠ ٣ Ž ころろ んらさ さまた かがく 力 ナル **る** さ Y 7 7 0.7

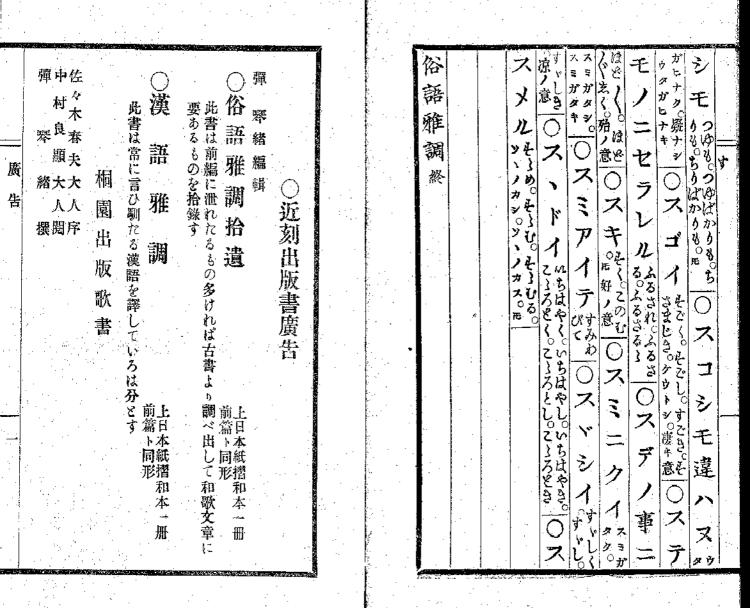












彈御 文宮大初 人夫のよ 序杉金り ○孫玉範 守を敷に 立始を類 選 一緒 撰一首を制造 首 は方の樹淵 してよい 他の歌図 が明治 同活版· よ歌國治恒長首草 上等美濃紙 して四季学 は賣切 に関する ででは 作に有代平蔭歌花 で、 で、 なななは、 なおをは、 なおをは、 り題ー、 **同活版上等美濃紙摺** 大拾錢 戀德價正 潛和 雑川十五 きけ代 本 錢 版映 丁句價特 郵稅 り價特 王大似年へ 五拾 新り 郵税四餘 、貳拾錢 明治年代迄古 鏠 郵税四錢 をり秀奘八禄

假名活版

上等美濃紙摺

撰再 氏名錄を附するに、川集に泄れたる珍題前記の通選擇し、優 の外書は 書は鰒玉鴨 五首 歌題總計 人員總計一千〇十 題春 一名に付 四四 雜百百五六 百百 JII る珍題をも 一千九百七十題 2四季戀難 百六十 十首〇 の南集に 冬百 六題八百四十八首 П の歌六 加 尙 廿五題 名 實 十天首保 ۲ 題詠 τ (保年度よ 百 三百四十七首〇戀百 一節ある秀吟を選入せり、首づゝ募集し、凡六萬首の の種類完備すい 三題三百七十 詞書の り明治年代まで故 定印本鳥極 題六十九題 價刷金 金鮮砂 又卷末に 明子表薄 八十五題三百八十五題三百 壹美振 本外付紙 は作者の 書は 叉鰒玉 内よ 圓 和 り除

類

題

和

歌

秋 荜

初

編

廣

告

同大同同同同明 冶 Æ 四四 Ħ 四 五五一七三一 日日日日日日 三再再版出印 編輯氣發行者 彈大阪市東區高麗橋三丁目五 發印發印免御竣行刷行刷許屆功 间 市南區日本橋筋二丁目五百八十二編輯氣發行者 引 國 正價 大

金零拾五錢

類題新年歌作例集 御歌所主事 贈從四位伴 樂 舍 歌作例集 編一 坂正臣大人序 五 百 首 上 州五錢

稅郵

族有位家の御詠を始とし。古今の有名大家引用し。殆むと五百首の秀歌を撰定し。上は世上の歌人は作例本のなきに苦しむ様子なの御題はいふも更なり、各家の一月樂題もになり難し。然るに去明治六年太陽暦に改い等の諸書あれこも何れも春部を始としてひ等の諸書あれこも何れも春部を始として初學の人の和歌作例本は麓の塵。布留の山脈をのかりの神歌作例本は麓の塵。布留の山脈を見いた。 林光平翁歌集 こし、古今)「一人は皇を)」「一種の古今」、の秀歌を撰定し、上は皇を)「一種の古今」、「明治六年太陽暦に改められしより以来は、年々のなきに苦しむ様子なれば、「百十種の古今」の秀歌を撰定して、新年さいふ題なければ、「何れも春部を始さして、新年さいふ題なければ、「何れも春部を始さして、新年さいふ題なければ、「何れも春部を始さして、新年で、「明治六年太陽暦に改められしより以来は、年本の方を、「一個の古今)「一級本表紙付美麗」「優三拾五錢 郵 二册合本 價品 の山当01 鷹三拾五邊 郵本表紙付美麗 鷹三拾五邊 郵版大判紙摺和本 滅三拾五邊 郵 - 學教師パンとを問 が及うな か及有位 ではず皇族 はず皇族 山路 ではず皇族 山路 へにしてばっ はっ 質の質用な

明

家文宮本 の武晃書 歌官現は

一番屋敷

祉

祉

扊

か

告